

春の叙勲の受章おめでとうございます

平成30年「春の叙勲」が発表され、本市から元名寄消防団長の吉川明男さんが瑞宝双光章を、元風連消防団副分団長の藤井規勝さんが瑞宝単光章を受章されました。



瑞宝双光章（消防功労）

吉川 明男さん（77歳）

昭和48年5月に名寄消防団に入団。平成25年には団長に就任され、平成29年3月末に退団。44年間消防団活動に従事されました。

火災消火活動はもちろんのこと、火災予防運動や消防施設整備の働きかけ、遭難者捜索出動や水防演習の総指揮を執るなど、多岐にわたり功績を残すとともに、あらゆる災害に対処できる団員の指導育成、技術向上に努められました。さらに、団員だけでなく地域住民からも信頼され、地域防災に尽力されました。

受章にあたり「ありがたいこと。団活動に対し全面的に理解してもらった家族に感謝している」と危険と隣り合わせの活動を見守っていたご家族の方々に感謝を述べられました。



瑞宝単光章（消防功労）

藤井 規勝さん（75歳）

昭和36年8月に風連消防団に入団。平成9年には副分団長に就任され、平成15年3月末に退団。41年間消防団活動に従事されました。

消防団員となった時期には、風連中学校や風連神社、西風連小中学校、木工場などの施設が火災に見舞われ、その消火活動に従事するとともに、消防団幹部として常に果敢なる行動と卓越した手腕により団員を指揮し、毅然とした態度を持ってその職務を全うされました。

受章にあたり「長年、風連町の皆さんにお世話になっている。消防団では若いころから40数年お世話になった。受賞はまちの皆さん、団員の支えのおかげであり、そのために活動することができた」と謙虚に喜びを述べられました。

